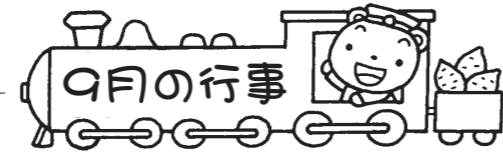




楽しかった夏も終わり、もうすぐ9月をむかえます。今年は夏らしい日が少なく、あっという間に秋になってしまい、少し寂しい感じがしますね。

保護者の皆様もご承知の通りインフルエンザA型の感染が広がっています。インフルエンザへの対応などについては別紙及び下記の記事でご報告させていただいておりますが、今後も新しい情報などが入りましたらその都度お知らせをさせていただきます。

保育ではインフルエンザに細心の注意を図りつつ、敬老の日会・運動会などに向けて毎日充実した日々が送れるよう取り組んでいきます。



- 1日(火) 避難訓練(受け渡し訓練)
- 2日(水) 幼児体育指導(ぼんだ・くま・らいおん) 園内職員研修
- 14~17日 給食試食会
- 14~18日 身体測定
- 15日(火) グリーン東京訪問(らいおん)
- 16日(水) 0歳児検診
- 18日(金) 敬老の日~ふれあい会食会
- 25日(金) 職員会議
- 30日(水) お誕生日会

敬老の日 ふれあい会食会 9月18日(金)

年長児の祖父母の皆様・近隣の皆様と、園児が、賑やかに昼食の時間を過ごす会です。



10月10日(土) 親子運動会



- * 場所…あさひ公園
- * 時間…8:30~12:30
- * 雨天…10月17日(土)

プログラムは
後日配布
いたします

★インフルエンザの感染状況により各種行事を中止または延期する場合があります。



インフルエンザについて



現在太陽の子保育園を含め、市内の保育園でインフルエンザA型の感染が広がっています。流行中のインフルエンザは、感染力が高い点を除けば、毎年流行する季節性インフルエンザと症状も変わりません。ですので保育園では、感染拡大の防止に努めると共に、必要以上に過剰反応することなく保育園としての機能を果たしていくよう心がけていきます。

新型インフルエンザの検査について
新型インフルエンザであるかどうかは、PCR検査(遺伝子検査)の実施により確定します。現在はインフルエンザA型の患者が多数発生していること、また症状が通常のインフルエンザと変わらないことから、特別な場合を除きPCR検査は行われません。

太陽の子保育園におけるインフルエンザ感染拡大対策

手洗い・うがいの徹底

保育中における児童の「手洗い・うがい」をこれまで以上に徹底して行います。また保育園では感染症対策のため、ペーパータオルを使用しています。



手指のアルコール消毒

手指の消毒のため、各入口にアルコール消毒液を設置しました。園舎内に入る際には手指の消毒をお願いします。なお、アルコールに対してアレルギーなどがある方は石鹸にての手洗いをお願いします。

イオン発生機の導入

これまでひよこ組にのみ設置していたプラスクラスタイオン発生機をぺんぎん組・うさぎ組にも設置します。プラスクラスタイオンは空気中のウィルスの分解・除去に効果があります。

その他、日々行っている園内の清掃・消毒の更なる徹底、園児・職員の健康管理の徹底を図ってまいります。

産経新聞 8/20 朝刊より

【Q】最近になって死者が相次いでいるのはなぜ?

【A】国立感染症研究所の推計では、9日までの1週間で約6万人がインフルエンザに感染している。今後、新型の感染地域が広がれば、それに伴って、感染者が増え、死亡する人も増加するとみられる。ただ、季節性インフルでも毎年約1千万人が感染し、約1万人が死亡するといわれており、致死率は0.1%。ウイルスそのものの毒性が強まったわけではないとの見方が主流で、必要以上に怖がる必要はない。

【Q】感染した場合、どのような人が重症化するリスクが高い?

【A】糖尿病、ぜんそく、人工透析を受けている患者など持病のある人や、妊婦、乳幼児については新型に感染すると重症化の恐れがあると医療関係者は警戒していた。新型で亡くなった3人も心臓や肺、腎臓に持病があった。持病があると重症化しやすいのは、病気を防ぐ免疫力が落ちるためだ。6歳以下の乳幼児はインフルエンザ脳症の合併症を発症することがあるため注意が必要だ。

【Q】感染を予防するワクチンの供給体制はどうなっている?

【A】国内のワクチンメーカー4社が現在、製造にあたっているが、市場投入は10月以降になる見通し。9月に大規模な流行となった場合、ワクチンの供給が間に合わない。厚労省は製造のための時間を稼ぐため、感染拡大防止策を徹底し、少しでも流行の時期を遅らせようとしている。

厚労省は5300万人分のワクチンが必要との見解を示しているが、4社が12

月末までに製造できるのは1400万~1700万人分。来年2月まで生産し続けた場合でも3千万人分が限界とされている。このため、不足した分は海外からの輸入も検討している。

【Q】新型の流行は今後どうなるの?

【A】9月に学校が再開されてから、流行のピークを迎えることが考えられる。通常、インフルエンザウイルスは湿度や高温に弱いとされるが、新型は夏にも感染が拡大しており、流行規模がどの程度にまで達するのかわからない。

【Q】新型の予防策は?

【A】手洗い、うがいの徹底だ。ウイルス感染の可能性があるドアノブやつり革などを触った後も手洗いをする習慣を家族ぐるみで身につけることが重要。部屋が乾燥している場合は湿度を50~60%ぐらいに加湿すると感染しにくくなる。

少しでも咳(せき)が出る人はマスクを着用し、咳エチケットを心がけたい。マスクを着けていないときに咳が出はじめたら、人のいない方を向き、タオルやティッシュなどで口を覆って咳をする。間に合わず、手で口を覆って咳をした場合は、すぐに手を洗う。

もしかかってしまったら・・・ インフルエンザ



- できるだけ早く医師の診断を受けましょう。
- 睡眠をとり、安静にしましょう。
- 消化のよいものをとりましょう。
- 高熱により脱水症状になりやすいので、水分の補給をしましょう。おう吐を伴い飲みにくいときは、15~20分おきに少しずつ飲ませてみましょう。
- 体を冷やさないように、室温は20~22度にしましょう。
- 乾燥は呼吸器をいためるため、湿度を60~70%ぐらいにしましょう。

保育園では今後もインフルエンザの感染拡大への予防対策に全力を注いでいきます。ですが、園児・職員を含め大規模な集団で生活を行っているため、感染のリスクは避けようがないのも現実です。この点につきまして、保護者の皆様にはご理解の程よろしくをお願いします。また、発熱など感染の疑いがある場合には、すぐにかかりつけ医などの医療機関への受診をお願いします。